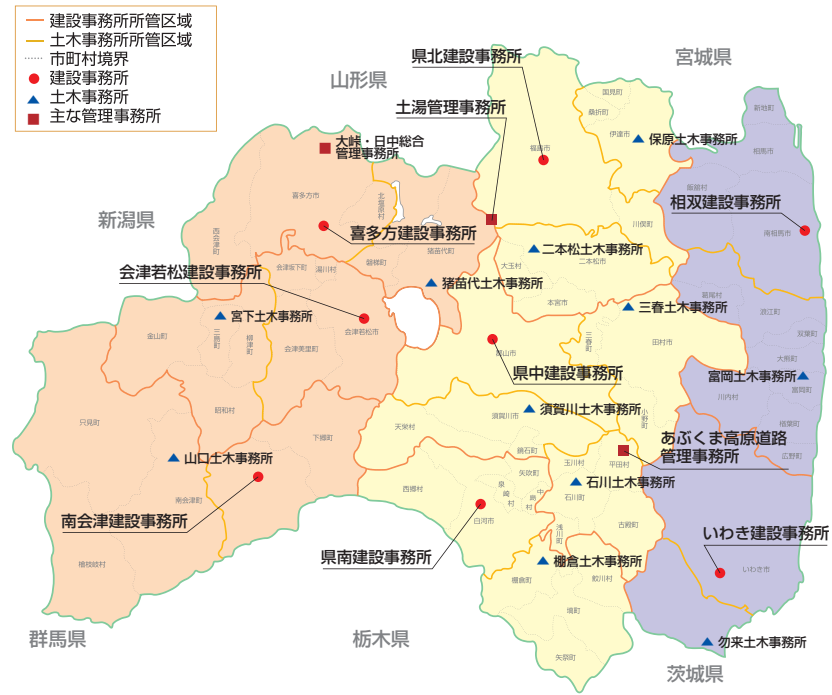


建設事務所等所管区域図



県庁各課の役割とお問い合わせ先

TEL 024-521-7469 E-mail:douro@pref.fukushima.jp

HP [道路総室](#) [検索](#)

土木部	土木総室	道路の総合企画及び調整、道路法等に係る制度運用等
	企画技術総室	
	道路総室	高速道路室 高速道路の建設促進、地域高規格道路の整備等
	河川港湾総室	道路管理課 道路の維持管理、除雪及び市町村道の整備等
	都市総室	道路整備課 道路、橋りょう、トンネル及び交通安全施設の整備等
建築総室		

各建設事務所へのお問い合わせ先

- 東北建設事務所……………☎TEL024-522-2116
HP [東北建設事務所](#) [検索](#)
- 県中建設事務所……………☎TEL024-935-1419
HP [県中建設事務所](#) [検索](#)
- 県南建設事務所……………☎TEL0248-23-1604
HP [県南建設事務所](#) [検索](#)
- 会津若松建設事務所……………☎TEL0242-29-5408
HP [会津若松建設事務所](#) [検索](#)
- 喜多方建設事務所……………☎TEL0241-24-3111
HP [喜多方建設事務所](#) [検索](#)
- 南会津建設事務所……………☎TEL0241-62-5304
HP [南会津建設事務所](#) [検索](#)
- 相双建設事務所……………☎TEL0244-26-1206
HP [相双建設事務所](#) [検索](#)
- いわき建設事務所……………☎TEL0246-24-6105
HP [いわき建設事務所](#) [検索](#)



県の鳥：キビタキ



県の木：ケヤキ



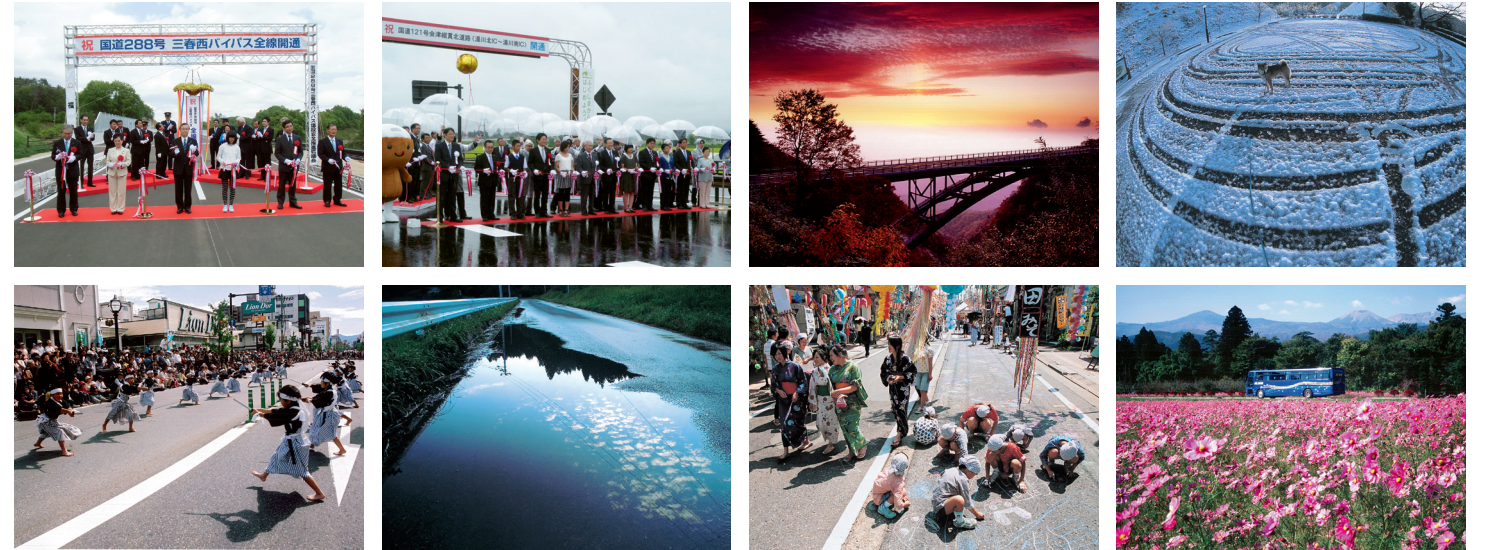
県の花：ネモトジャクナゲ

福島県の道路 2014

ふくしまから
はじめよう。
Future From Fukushima.



福島県の道路 2014



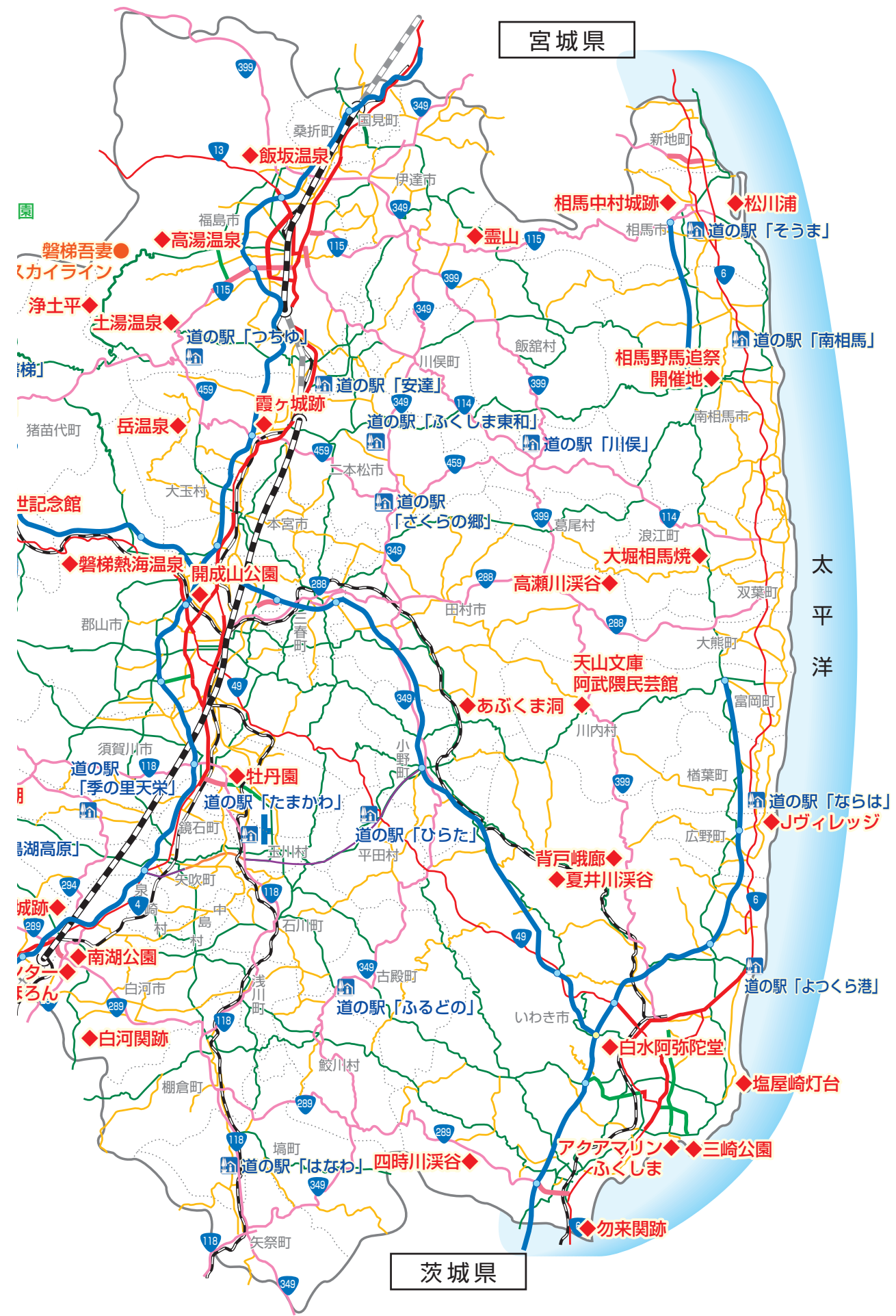
福島県の道路2014
平成26年3月発行
編集発行：福島県土木部

福島県

福島県



道路網



御挨拶

本県に甚大かつ凄惨な被害をもたらした東日本大震災から3年が経過しました。

この間、津波被災地域での復旧・復興は、一步一步着実に前進しておりますが、福島第一原子力発電所事故による避難指示区域の復旧・復興は、未だに道半ばの状態が続いています。

このような状況を踏まえ、本県の道路整備の基本方針である「ふくしま道づくりプラン」は、福島県総合計画の改定や福島県復興計画の策定、部門別計画である土木部の県土づくりプランの見直しとの整合を図り、平成25年3月に「ふくしま道づくりプラン（復興計画対応版）」として改定しました。

その中で、避難指示区域及びその周辺地域の復興と避難住民の帰還を加速させるため、（仮称）小名浜道路をはじめとする8路線を「ふくしま復興再生道路」として位置づけ、現在、戦略的に道路整備を進めております。

さて、大きな被害を受けた浜通りの道路整備状況に目を向けて見ますと、東日本高速道路株式会社を始めとする関係機関の尽力によって、東日本大震災による被災及び福島第一原子力発電所事故の影響で通行止めとなっていた常磐自動車道「広野IC～常磐富岡IC」間が平成26年2月22日に再開通しました。

加えて、平成26年3月10日に内閣総理大臣より、「常磐自動車道を来年（平成27年）のゴールデンウィーク前に全線開通させる」との

方針が示され、6本の連携軸の一つである浜通り軸の開通により被災地域の復興の加速化や広域的な交流の拡大が待望されます。

また、平成25年度に、直轄権限代行事業で整備されている会津縦貫北道路「湯川北IC～湯川南IC」間が開通し、更には、国道288号三春西バイパスが全線開通するなど、「ふくしま道づくりプラン」に基づいて、基幹的な道路網の整備が着実に進展しております。

今後とも、プランに掲載された道路施策の体系的かつ戦略的な展開を通じて、災害に強い道路ネットワークの強化と信頼性の向上を図り、本県の復興の礎となる社会基盤として、また、原子力災害に伴う避難指示区域等の再生や避難住民の早期帰還を支援するための道づくりを計画的かつ積極的に推進してまいります。

本冊子は、本県の道路の実情を語るデータにより構成しております。この冊子を通じて、県民の皆様をはじめ関係各位には、道路行政への一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年4月
福島県土木部次長（道路担当）

